

市民スタッフ(G-free) 研修 講師 坪井 篤史 シネマスコーレ支配人

2023年12月17日 岐阜市文化センター 展示室

市民スタッフ研修に参加して…市民スタッフ A.G

市民スタッフの研修会は、なんと！名古屋のミニシアター「シネマスコーレ」の現支配人坪井篤史さんを講師にお迎えして ミニシアターの過去現在未来のお話を聞くことができました。「ここだけの話」満載で禁断の果実を味わうがととき目くるめく2時間！小学三年生の坪井少年がお母様に連れられ初めて映画館で観た映画に魂を奪われたことで始まった「映画道」人生。それからの楽しくも厳しい現実を幾度となく乗り越えて今に至る過程。リーマンショック、フィルムからデジタルへの転換、ネット配信の台頭・・・、これでもかと襲って来る危機を乗り越えられたのはやはり「映画」の力と「熱意」だったんですね。「ひとりの熱意がそれを動かす」の言葉は心に刺さりました。スティーブ・ジョブズも言っていました、「必要なのは強い情熱だ」と。満席の館内でどよめくように起こる笑いの渦。心から楽しそうな老若男女。そんな光景はいつまでも幸せな記憶として残っています。カメラを止めるな、音楽・・・などなど。創設者の思いも引き継ぎながら、これからもどうぞヨロシクお願いします!!



市民スタッフ (G-free) 紹介 Kさん

市民スタッフに参加する前は、まず「ぎふアジア映画祭」に出会いアジア各国のさまざまな映画に感動し継続して観覧してきました。特に「きっと、うまくいく」などインド作品は、観覧に外せないアイテムとなりました。ちょうど年齢的にも夫婦でボランティア活動を始めたいと話していた時に、「ぎふアジア映画祭」にも係ることのできるこの市民スタッフの存在を知り、即参加となりました。映画だけでなく「落語」などもあったことそして同じ市民スタッフの方々の中にそれぞれの分野で見識の深い方からの話を聞き、いつのまにか自分自身の興味が広がっていったことも大きな財産となりました。作品に関係するゲストトークも多く企画されていますが、今後もあらゆる分野で多くの人から喜んでいただけるプログラムが実現できるよう活動していきたいと思ひます。

**10代から80代の38名が“自分に合ったスタイル”で活躍しています！
やりたい事！ できる事から！ ぜひご参加ください!!**

**“G-free”
スタッフ募集!**

岐阜市民会館
岐阜市文化センター
施設ボランティア

- 市民スタッフ事業
- ぎふアジア映画祭

- ・企画
- ・映画祭作品選定
- ・運営・広報・HP など

- 自主事業公演当日スタッフ

- ・チケットもぎり
- ・会場案内 など
- ・アンケート配布・回収

他にも・・・

- ・カメラ、ビデオなど記録撮影
- ・イラストの作成
- ・活動紙、チラシの作成 など

ご興味のある方はお気軽にご連絡ください！ 会議の見学も可能です。

岐阜市文化センター

〒500-8842
岐阜市金町5丁目7番地2
TEL 058-262-6200 FAX 058-262-6229
<https://gifu-culture.info/>

岐阜市民会館

〒500-8812
岐阜市美江寺町2丁目6番地
TEL 058-262-8111 FAX 058-262-8114
<https://gifu-civic.info/>

第23号

G-free



第23号

令和6年3月31日



令和6年 月 日



第404回市民の劇場

第45回ぎふアジア映画祭

2023年9月23日(土・祝)～10月14日(土)



ぎふアジア映画祭「もう一度上映してほしい作品」
ランキング1位作品(2018年投票)

第45回記念企画映画
『この世界の片隅に』 &
コトリンゴミニライブ

コトリンゴさん&副田整歩さん(サクソ)2人の
優しい音楽で映画の世界観をより感じる
ステキな特別企画となりました。

インド映画「響け!情熱のムリダンガム」・・・市民スタッフ 大江 繁美

インド映画「響け!情熱のムリダンガム」上映終了後、個人配給でこの映画の一般劇場公開を実現した稲垣紀子さんをお招きしお話を伺いました。当日ご主人と息子さんと共に岐阜へおみえになった稲垣さん。彼女は、1998年に「ムトゥ 踊るマハラジャ」を観て以来インド映画に惹かれ、映画を観るためにインドや東南アジアに通われたそう。そしてご主人が営む南インド料理店の傍らでインド映画の紹介やイベントを度々実施されます。2018年、東京国際映画祭で本作に出会い、劇中で稲垣さん自身もファンである実在の映画スター・ヴィジャイの「推し活」をする主人公・ピーターに共感し、ぜひ皆に観てほしいという純粋な思いで日本配給権を取得されました。その際、ラージーヴ・メーナン監督にどうしたらよいか相談されたそうです。監督の答えは「you can buy!」しかし上映するには幾多の苦労が…字幕を付け、パンフレットを作り、宣伝活動等乗り越えて上映に至ったとのこと。なかでも一番苦労したことはパンフレット作成。多くの方々に原稿をお願いしたため、その原稿全てを掲載するのは大変だったそうです。ここまで情熱を貫き通すなんて、素晴らしい!!この一言に尽きます。私たちも見習いたい、熱きソウルの方でした。



ゲスト:稲垣紀子さん
テンドラル合同会社
(南インド料理店・
なんどり映画部門)代表

「メイド・イン・バングラデシュ」特別企画

上映後、この映画に字幕を付けられた神戸女学院大学の南出和余准教授をお迎えしてお話を聞くことができました。この映画は、安価で売られている衣料品、その裏にある開発途上国の女性たちの姿を描いており、環境や待遇等を改善するため労働組合を結成しようと立ち上がった実在の女性に焦点があてられています。先生は監督や主人公のモデルとなった女性にも会いお話をされたそうです。そして本作に字幕をつける作業は学生達と一緒に進められており、これまでに4作品の字幕制作を手掛けてこられました。この活動に携わっていた岐阜市出身の吉田あやさんもお大阪からこの映画を観に来てくださいました!南出准教授や吉田さんのような方々のおかげで、なかなか観ることの叶わない映画を観ることができるのだと嬉しく思いました。また一つ素敵な映画と出会えて良かったです。

文化講座
字幕監修:南出和余先生
素敵なサリーを着て、
講演いただきました。



南出和余先生、高橋純子さん、吉田あやさんとスタッフでパチリ。
映画祭一日ボランティアの皆さんにも手伝いいただきました。

フェアトレードのお店“フラマン”

市民スタッフ 大江 美穂

昨年の映画祭最終日「メイド・イン・バングラデシュ」の上映にちなみ、岐阜市にあるフェアトレードのお店“フラマン”を市民会館に開店していただきました!ところで皆さん、フェアトレードって聞いたことありますか?フェアトレードとは、開発途上国で生産された原材料や製品を、適正な価格で売買し、生産者の生活改善と自立を目指す貿易の仕組みのことです。当日店頭には、色とりどりの刺繍がほどこされた愛らしいブローチやお財布、美しく編まれた籠、安心安全な食品等々、バングラデシュ製品を中心に素敵な品々が並びました。店主の高橋純子さんが商品について一つ一つ丁寧に説明してください、お店は盛況でした。トークイベントでは高橋さんのお話も伺いました。私たちはお店を選べば洋服や雑貨・食品を安価で手に入れることが出来ていますが、それらは開発途上の国々で不当に見積もられた労働力で作られたものも多く、値段が安いことは嬉しいことですが考えさせられる話題でした。…この日、私は小さなフェルトの小鳥のブローチを手に入れました。可愛くてなんとも愛着がわく品です。そして私がこの品物を買うことが、作った方々の生活にほんの少しだけ役に立つのなら、幸せが2倍になったようでなんだかとても嬉しいなと思いました。次は本物のお店の方にも行ってみたいと思います。よろしければ皆さんも、ぜひ一度足を運んでみてくださいね。



第405回市民の劇場 市民スタッフ企画Vol.21 『ぎふ市民会館寄席』

市民スタッフ的「今年の反省等」・・・市民スタッフ 中島 正史

去る令和5年12月3日(日曜日)。今年度の事業の『ぎふ市民会館寄席』が無事終了。ひとえに我々市民スタッフと、職員さんの絶妙な連携の賜物と思います。今はホッとしています。さて、今年度の事業の反省等について市民スタッフの視点から考えてみました!!



- ・・・出演者・・・
- 落語 桂 鷹治
春風亭 一花
 - 色物 できたくん
 - 講談 神田 梅之丞
 - お囃子 井手窪 泉



今年の市民スタッフ企画は、好評であった未就学児も入場可能な寄席を企画しました。昨年度よりゲストで来ていただいている桂鷹治さん、若手落語家の春風亭一花さん、発泡スチロール芸のできたくん、講談師の神田梅之丞さん、お囃子の井手窪泉さんにご出演いただきました。寄席の前にできたくんから直接教えていただけるワークショップを開催しました。ロビーでは落語家になりきれのフォトブース、根多(ネタ)帳体験や、クイズなど、子どもにも大人にも楽しんでいただける会となりました!!

1、よかった点!!

- ①市民スタッフがステージに上りあいさつ等が複数人で行えた。(開演前)
- ②会場が一体となって盛り上がった演目があった。
- ③授乳室、おむつ替えのスペースが確保されていた。

2、改善点!!

- ①入場者数250人弱。➡(人数にこだわるか?)
- ②来場者の年齢層に偏り。子ども連れの若い世代と高齢者がメイン。40代。50代が少なめ(あくまでも推測)ターゲットは、どうだったか?

来年度以降の課題

- ①「寄席」をコンセプトとして継続するか?(平成30年～同じテーマ)
- ②継続しないなら新しく何をコンセプトとするか。
- ③継続する場合でも以下の検討必要。

《市民スタッフ活動全般について》

新しく活動に参加する人を増やすため。定着してもらうため。

- (1)ハードルをさげる➡例えば入場者、退場に会釈する事のみを担当
- (2)今回のように市民スタッフ自らが活動参加を呼びかける機会を増やす。
- (3)(2)の呼びかけ時を含め➡専門知識不要!専門技能不要!年齢不問!を強くアピール。

以上、思うままに書きました!

もちろん、今後については皆さんとの話し合いによります!



市民スタッフ(G-free)出張研修 東海市芸術劇場 (市民スタッフ交流会&施設見学)

市民スタッフ出張研修に参加して・・・市民スタッフ T

東海市芸術劇場 職員、市民スタッフ 11名 ・岐阜市文化会館 職員、市民スタッフ 10名

市民スタッフとして初めての研修参加で、ワクワクドキドキでした。東海市芸術劇場はどんな劇場なのか、どんなイベントを行っているのか、市民スタッフの方はどんな活動をしているのか、とても興味がありました。流石、愛知県東海市。建物は太田川駅のすぐ目の前に立地し、平成27年開館、近代的な劇場で、ガラス張りの部屋は練習風景が他の部屋からも見え、参加したくなります。建物全体が開放感に溢れ、衝撃的でした。演者は自身の力を思いきり発揮できる場所であり、観客もこんな劇場で迫力ある素敵な演技が観られるのは素晴らしいことです。交流会ではお互いの活動内容についての意見交換を行いました。東海市民スタッフの方の主な活動はレセプションであり、来場されたお客様に心地よく観劇を楽しんでいただけるよう最善の心配りをしていることが良くわかりました。会場内でのアクシデント等に対して、できる限りお客様が不快に思われないような声かけを、してらっしゃいました。一方、岐阜市民スタッフは、イベントの企画に遣り甲斐を持って取り組んでいらっしゃる方が多く、個人ではお話できないような映画監督やアジアの国の文化を研究している学者に来ていただき講演を聴くことができ嬉しかった、聴講にみえたお客様からも良かったとの感想をいただき自身のモチベーションアップに繋がったとご意見される方もいらっしゃいました。私自身、現在、会議へあまり参加できず、映画は市民スタッフの先輩方のコメントなどを読み、もっぱら勉強中です。本日の研修に参加して、双方の市民スタッフの方の取り組み方や意気込みを知り、大いに刺激を受けました。スタッフとしての活動にもう少し踏み込みたい所存です。有意義な研修に参加させていただきありがとうございました。

